

【評価審議会における審議結果】（全体について）

○府の点検及び評価結果は概ね妥当であると判断したが、以下に全体についての意見を述べる。

- 府教育委員会は、他府県の事例も参考にしながら、市町村教育委員会をどう支援していくのかという点に関しても、できるだけ点検及び評価に盛り込み、府民に対し大阪府の教育行政全体の取組みがわかるようにしていくべきである。市町村教育委員会への支援に当たっては、成功事例をいかに普及させ、例外をいかになくすかという視点が必要である。

また、子どもの発達や学びの連続性という観点を踏まえると、校種や幼小中高の設置者の違いによる役割分担が、教育施策の「分断」と受け取られないよう、取組み内容や成果等を示していくことが重要である。

- 点検及び評価の目的は府民への説明責任を果たすことにあるため、自己評価では、実績に関する原因分析や目標達成に向けて今後どう取り組んでいくのかという点をできる限りきちんと記載すべきである。